

地域情報

一般社団法人熊本県野菜振興協会上益城支部

野菜振興協会上益城支部先進事例調査研修

平成25年8月6日、支部関係者の技術向上を目的に、宮崎大学農学部 植物生産環境科学科 応用昆虫学研究室で先進地事例調査研修を行いました。

今回研修を行った応用昆虫学研究室では、土着天敵を定着させ、増殖する場所となる植物（天敵温存植物（インセクタリープラント））を活用した害虫管理技術が研究されています。

上益城地域の野菜は、夏秋期の雨よけ・露地栽培を中心に、開放的な栽培条件の中で栽培が行われています。近年、微小害虫の発生がみられ、薬剤散布による被害の軽減を図りながら栽培を継続していますが、環境にやさしいより効果的な被害軽減対策が求められています。

支部でも昨年からは夏秋ピーマン栽培でスイートバジルを採植し、土着天敵を定着させ、アザミウマ類の発生を抑制する、環境にやさしい害虫管理技術について取り組みを行っています。

今回の研修で得られた知見を今後の防除対策に活かし、土着天敵を活用した害虫管理技術の確立を図っていきます。



試験ほ場の様子



天敵の確認中